

78th Interim

Vitamin Report

自然の恵みにとことんこだわる

 **理研ビタミン株式会社**

第78期 第2四半期 株主通信

2013年4月1日から2013年9月30日

証券コード：4526

Vitamin Report

ビタミンレポート

トップインタビュー



代表取締役社長 保美 塔

経営理念

わたしたち理研ビタミンは、「天然物の有効利用を図る技術と商品で、人々の健康と栄養に寄与し、社会に貢献する」という「企業理念」を創立以来一貫して守ってきました。

この「企業理念」を継承し、「経営理念」としています。

1

社会に対し、食を通じて健康と豊かな食生活を提供する

2

コンプライアンス精神に基づいた事業活動を行い、社会的責任を果たす

3

フレキシビリティのあるかつ創造性に溢れた企業として発展する

4

事業活動の視点・範囲を海外にも向け「世界の理研ビタミン」としてのブランドを高める

5

人間尊重の思想に基づき魅力ある職場をつくる

Q1. 当第2四半期(2013年4月1日から9月30日まで)の業績概況と通期(2013年4月1日から2014年3月31日まで)の業績見通しをお聞かせください。

A1. 第2四半期の売上は、「国内食品事業」では海藻商品の販売寄与に加え、ノンオイル『青じそ』『くせになるうま塩』等の市販ドレッシングの着実な実績化、食品用改良剤・健康機能食品等のユーザーニーズへの的確な対応により増加しました。また、「海外事業」の改良剤分野では既存市場での深耕と新市場の開拓・販売拡大に取り組み、水産加工品が高いウエイトを占める青島福生食品有限公司の売上が回復基調に転じたことにより、前年同期比111.2%となりました。利益面は、売上増に伴う収益増加により、営業利益が150.9%、経常利益が160.9%、四半期純利益が193.0%となりました。

通期の見通しは、売上高855億円(前期比10.2%増)、営業利益47億円(同30.5%増)、経常利益48億円(同28.3%増)、当期純利益28億円(同16.3%増)を見込んでおります。

Q2. 新聞広告が続きましたが、販売促進活動についてお聞かせください。

A2. 今上期の主要な広告展開としましては、5月14日付の読売朝刊で、映画「体脂肪計タニタの社員食堂」(当社協賛)の広告内に映画にも登場する「ノンオイルドレッシング」を掲載。その後も、6月19日付の日経MJに「ノンオイルドレッシング」、7月14日付の読売・朝日朝刊に『ふえるわかめちゃん®』の全面広告をそれぞれ掲載いたしました。特に『ふえるわかめちゃん®』の広告は、震災の影響を大きく受けた海藻事業を伸ばしていこうという強い意志を込めて実施したものです。

家庭用以外にも、販売促進活動は各部門で展示会への出展等を行っており、今後も適正な予算で成果を出せるよう努めてまいります。

Q3. 昨年、『包装資材管理・技術センター』が発足しましたが、どのような目的で作られ、どんな業務を行っていますか？

A3. メーカーとして価格競争に打ち勝つには、徹底したコストリダクションによって市場で勝てる生産コストを実現しなければなりません。そのためには、原料調達、生産、物流の各プロセスにおけるコストの見直しを徹底して行う必要があります。そこで、「商品設計段階での適正な包材仕様の決定、一元的な情報収集、包装包材技術開発機能を備えた独立した部門」として、昨年『包装資材管理・技術センター』を発足させました。

家庭用・業務用商品における包装資材についてコスト構成要素の分析を行うとともに、環境にも配慮し、容器の軽量化、材質変更をはじめとする仕様・スペック等の適正化の推進と他品群への水平展開で、更なるコストリダクションを図ります。

Q4. 最後に、株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A4. 今上期は、全体としてはほぼ計画に沿った伸長でしたが、個々にはいくつかの解決しなければならない課題があります。

特に、震災後休売期間の長かった三陸わかめ商品の市場での復旧が未だ十分でなく、回復に向けてなお一層の努力が必要です。さらに、円安による原料およびエネルギー費の高騰等は生産コストを押し上げます。原料、副資材の調達、生産工程、物流については、更なる見直しを行い、市場競争力のある生産コストの実現に努力してまいります。

株主の皆さまには今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



セグメント別事業概況

	売上高・構成比	事業内容	第2四半期の概況	売上高の推移 (百万円)
国内食品事業	<p>国内食品事業 68.8%</p> <p>285億54百万円 (前年同期比105.1%)</p>	<p>家庭用食品 21.0% ノンオイルドレッシング、わかめ製品、和風調味料、レトルト食品等を一般ご家庭向けに提供しています。</p> <p>業務用食品 24.1% 家庭用食品のカテゴリーに加え、各種調味料やスープといった加工食品を給食・外食産業等に提供しています。</p> <p>加工食品用原料等 23.7% 国内加工食品メーカー向けに、原料や素材となる食品改良剤・水産加工品等を、医薬品・食品メーカー向けにビタミン等を幅広く提供しています。</p>	<p>国内食品事業は、「家庭用食品」「業務用食品」「加工食品用原料等」がそれぞれ前年同期を上回る結果となりました。</p> <p>ノンオイル『青じそ』『くせになるうま塩』をはじめとする市販ドレッシングの着実な実績化と、震災からの完全回復を目指す海藻商品では、『ふえるわかめちゃん®』シリーズの新たな市場導入や「冷凍海藻」の販売が寄与しました。</p> <p>食品用改良剤・健康機能食品・食品向けビタミン等は、ユーザーニーズに的確に対応した結果、売上が堅調に推移しました。</p>	<p>54,704 (2013年3月期)</p> <p>27,160 (2013年第2四半期)</p> <p>28,554 (2014年3月期)</p>
国内化粧品その他事業	<p>国内化粧品その他事業 7.1%</p> <p>29億45百万円 (前年同期比102.9%)</p>	<p>プラスチック、農業用フィルム、食品用包材といった国内化粧品メーカー向けに改良剤を提供しています。その他事業としては、飼料用ビタミン等を販売しています。</p>	<p>「化粧品(改良剤)」では、建築資材(滑剤)および食品用ラップ(防曇剤)向けが堅調に推移しました。</p> <p>「その他」の事業では、飼料用油脂が前年同期並みの実績で推移しました。</p>	<p>5,761 (2013年3月期)</p> <p>2,862 (2013年第2四半期)</p> <p>2,945 (2014年3月期)</p>
海外事業	<p>海外事業 24.1%</p> <p>100億29百万円 (前年同期比138.2%)</p>	<p>食品用改良剤、化粧品用改良剤、水産加工品、ビタミン等を海外拠点で生産・販売しています。販売先は数十カ国にわたっています。</p>	<p>「改良剤」分野において、アジア・欧米をはじめとする各エリアの既存市場での深耕と、成長が見込める新市場の開拓・販売拡大に取り組んだ結果、確実な実績化を図ることができました。</p> <p>また、水産加工品を扱う青島福生食品有限公司は、主要取引エリアである欧州の市場環境が回復基調に転じ、前年同期を大きく上回りました。</p>	<p>17,802 (2013年3月期)</p> <p>7,256 (2013年第2四半期)</p> <p>10,029 (2014年3月期)</p>

※上記の各事業の数値には、セグメント間の内部売上高を含めています。構成比は調整前の数値です。

特集

プレゼンテーションセンター

当社の商品開発(食品開発部)は、まず、企画チームがコンセプトやターゲット等を検討して商品の企画を決定。

その企画をもとに技術グループが何種類もの試作品を検討します。

その後、企画担当者と技術グループが何度も試食を行いながら、徐々に1つの商品へと作り上げ、最終的に発売する商品を決定しています。

今回は、これに加え、商品開発において重要な業務の一翼を担う特徴的な組織「**プレゼンテーションセンター**」についてご紹介します。



プレゼンテーションセンターの概要

プレゼンテーションセンターは、主に当社の家庭用・業務用商品関連の情報受発信基地として、2000年6月に東京・四谷に開設されました。主要な流通関係のお得意様やユーザー様に対して、家庭用・業務用の新商品および既存商品について試食を含めてご紹介するとともに、お客さまとのコミュニケーションを通じて得られた「求められている商品のイメージ・メニュー・市場データ・販売促進策」をもとに日々提案活動を行っています。

試食から商品の採用につながるためには、商品の特長を最大限に引き出した魅力あるメニューが不可欠です。そのため、同センターでは常に新しいメニューを開発しており、現在では家庭用商品・業務用商品を合わせて約7,500点のレシピを有しています。

また、ヒットメニューが生まれますと、お客さまがそのメニューを調理することで、当社商品の購入拡大や長期的な使用につながる事が期待されます。

このように、当センターはメニューの提供を通して大きな役割を果たしています。



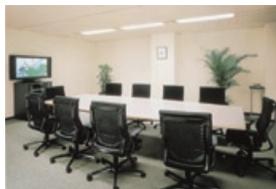
ロビー

広々とした空間で、お客さまをお迎えします。



テストキッチン

家庭用・業務用の調理機器が揃っている本格的な厨房です。メニューの数々もここで生まれます。



プレゼンテーションルーム

商品説明会や会議、お客さまにプレゼンを行う際に使用します。室内の映像がテストキッチンで見られるようになっており、試食のタイミングに合わせて調理を提供することができます。

★センター長インタビュー★



センター長
竹崎 雅彦

当センターが持つ機能の中で特に強みはどのような点でしょうか。また、今後目指していく方向性についてもお聞かせください。

プレゼンテーションセンターは、お客さまのニーズや世の中のトレンドに合わせて新しいメニューや食べ方を提案し、商品の売上に寄与することが重要な役割となっています。

当センターの強みは、プレゼンを行うために必要な業務(情報収集、メニュー開発、提案資料作成、メニュープレゼン)を単独で遂行できることです。

この機能を活かして、食に関するさまざまな情報を分析し、コンセプトやターゲットが明確なメニューを開発して、営業と連携しながら効果的なプレゼンを行っています。

今後はさらに業務の質を向上させて、お客さまが商品を見ただけですぐに思い出していただけるメニューの開発を目指していきたいと思っております。

※一般消費者の方のご利用はご遠慮いただいております。



提案メニューの一例

家庭用商品



豚肉の青じそ焼き

お肉の旨みと青じそのタレで、お肉も生野菜もモリモリ食べられます。

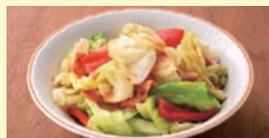
(リケンノンオイル 青じそ)



チョレギ風サラダ

キャベツをうま塩ドレッシングで和えた簡単でおいしいサラダです。

(リケンノンオイル くせになるうま塩)



彩り鮮やかな蒸しサラダ

生姜の香りがじんわりおいしい、温かな野菜サラダです。

(リケンノンオイル セレクティブ®じんわり生姜)



業務用商品



わかめとしらすの丼

わかめのシャキシャキ感としらすの優しい味わいが絶妙です。

(冷凍海藻 三陸産 丸採りわかめ カット)



炙りモツの牛塩鍋

濃厚な牛の旨みにんにくを効かせた、炙ったモツとごぼうが香ばしい一品です。

(ラック鍋百選 牛塩にんにく鍋の素)



プレゼンテーション
センターは
こんな時にも
活用されています!!



■ 学生の企業訪問

当社では2009年から、総合学習やキャリア教育等の目的で企業訪問を希望される学生の皆さんを受け入れており、会社とはどんなところかを少しでも感じていただけるように、仕事の内容・やりがいを説明するなどして対応しています。

一般的なオフィスではなく、当社ならではの環境で楽しく学んでいただきたい…そんな時に頼りになるのが当センターです。通常はお客さまにプレゼンを行うプレゼンテーションルームで説明を聞き、普段見る機会の少ない業務用の調理設備を見学していただくことで、生徒の皆さんには実感を持って仕事の流れを理解し、単に商品を開発して販売するだけではない当社の「別の顔」を知っていただいています。

■ テレビ・雑誌の取材

当センターは、テレビ・雑誌の取材においても活躍しています。さまざまな要素が含まれる取材の中で、近年ではレシピを求められることが増えてきました(例:わかめの健康効果に関する取材であれば「わかめを使った手軽な料理」、ドレッシングの取材であれば「ドレッシングを使った意外な料理」など)。

そのような場合には、当センターが先方のご要望に沿ったレシピを開発し、ご提案しています。

当社商品を使ったメニューを最高の状態で紹介していただけるように、取材の進行状況に合わせて、調理から提供するタイミングにいたるまで細かい気配りをしながら対応しています。

また、メニューに限らず、当社を紹介する撮影の場としてもご活用いただいています。



レシピサイト一覧

おいしいノンオイル生活のすすめ
家族と自分の健康を守る食卓とは?

油を使わないで料理することは、実はおいしくて、賢いこと。「リケンのノンオイル」を使ったレシピをご紹介します。

(http://www.rikenvitamin.jp/non_oil/index.html)

ふえるわかめレシピ

「ふえるわかめちゃん®」を使ったヘルシーなレシピをご紹介します。

(http://www.rikenvitamin.jp/non_oil/wakamerecipe/index.html)

素材力 おかわり! レシピ帖
おいしいレシピはこちら▶

化学調味料と食塩を無添加の和風だしの素「素材力®」を使ったレシピをご紹介します。

(<http://sozairyoku.jp/>)

暖らん サラダ

新商品「リケンのノンオイル セレクトィ®じんわり生姜」を使ったあったかサラダレシピをご紹介します。

(http://www.rikenvitamin.jp/non_oil/jinwarirecipe/index.html)

*サイトは予告なく変更になる場合がございます。

トピックス

● 海外の展示会に出展「Fi Asia 2013」

「Fi Asia 2013」は、東南アジア地域における食品添加物関連の最大級の展示会であり、9月11-13日の3日間、タイの首都バンコクで開催されました。

リケビタシンガポールも理研ビタミングループの当該エリアでの存在感を高めるべく、新規顧客開拓、既存顧客との関係強化を主な目的として毎年出展しております。

今展示会での当社ブースへの来場数は3日間で130社に及び、来場されたお客さまは、日本発の技術に大きな興味・関心を持たれていました。

今後も独自性、技術力の高い製品を提案・提供し、これまで以上に、東南アジア・南アジア地域に理研ビタミンブランドを築けるよう、拡販に向け努力してまいります。



● 理研ビタミングループ環境会議を設置

理研ビタミンは環境活動を推進していますが、これまでは事業所等の単位ごとに取り組んできました。このたび、ますます重要性が高まりつつある環境貢献の充実化を図るため、グループで運営する環境会議を設置しました。

5月には定期会議を開催し、堺社長(議長)が「目標を明確にすること、各テーマの課題解決に向けて取り組むこと、生産性の高い活動となるよう努力すること」等の活動方針を表明しました。

今後は、グループの連携を強め、効果的で効率的な環境活動を目指し、環境経営を推進してまいります。



● 「科学技術分野の文部科学大臣表彰」を受賞

科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者に授与される「科学技術分野の文部科学大臣表彰」の表彰式が、4月16日に文部科学省で行われ、食品や食品添加物として長年利用されているものを植物病害虫の防除に用いた『SaFE農薬』の開発をテーマに、当社から執行役員化成品改良剤開発部長の指田和幸が受賞しました。

※理化学研究所 有本裕先生
OAT&IIL (India) Laboratories Pvt.Ltd. 今井哲弥氏
石原産業株式会社 加嶋崇之氏
との共同研究による受賞です。



四半期連結財務諸表

(百万円未満は切り捨てて表示してあります)

■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2013年9月30日現在	前期末 2013年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	55,399	53,840
固定資産	43,866	40,416
有形固定資産	26,688	24,997
無形固定資産	957	840
投資その他の資産	16,219	14,578
資産合計	99,265	94,257
【負債の部】		
流動負債	28,106	28,073
固定負債	7,110	5,455
負債合計	35,217	33,528
【純資産の部】		
株主資本	56,401	55,165
資本金	2,537	2,537
資本剰余金	2,466	2,466
利益剰余金	55,142	53,906
自己株式	△3,745	△3,745
その他の包括利益累計額	7,105	5,036
その他有価証券評価差額金	5,818	4,807
繰延ヘッジ損益	△11	18
為替換算調整勘定	1,298	210
少数株主持分	541	526
純資産合計	64,048	60,728
負債純資産合計	99,265	94,257

POINT

総資産

総資産は992億65百万円となり、前期末に比べて50億8百万円増加。これは、棚卸資産や有形固定資産が増加したためです。

負債

負債は352億17百万円となり、前期末に比べて16億88百万円増加。これは、短期借入金や長期借入金が増加したためです。

純資産

純資産は640億48百万円となり、前期末に比べて33億19百万円増加しております。

■連結損益計算書及び連結包括利益計算書(要旨)

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで
売上高	41,084	36,948
売上原価	28,934	25,916
売上総利益	12,150	11,031
販売費及び一般管理費	9,774	9,457
営業利益	2,375	1,574
営業外収益	382	242
営業外費用	229	245
経常利益	2,528	1,571
特別利益	485	396
特別損失	454	546
税金等調整前四半期純利益	2,559	1,421
法人税等	914	566
少数株主損益調整前四半期純利益	1,645	854
少数株主利益	11	7
四半期純利益	1,633	846

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益	1,645	854
その他の包括利益	2,076	47
四半期包括利益 (内訳)	3,721	902
親会社株主に係る四半期包括利益	3,703	908
少数株主に係る四半期包括利益	18	△6

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△112	631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,349	△2,888
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,368	659
現金及び現金同等物に係る換算差額	266	△37
現金及び現金同等物の増減額	172	△1,633
現金及び現金同等物の期首残高	12,171	15,820
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,344	14,186

財務ハイライト

■売上高(単位:百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期



■経常利益(単位:百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期



■純利益(単位:百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期



■総資産/純資産(単位:百万円)

■ 総資産 ■ 純資産



会社概要

■会社概要 (2013年9月30日現在)

商号	理研ビタミン株式会社
設立日	1949年8月27日
本社所在地	〒101-8370 東京都千代田区三崎町2-9-18
TEL(代表)	03-5275-5111
ホームページアドレス	http://www.rikenvitamin.jp
資本金	2,537百万円
事業内容	家庭用食品、業務用食品、加工食品用原料、 食品用改良剤、化成品用改良剤、ビタミン 類などの製造・販売
従業員数	934人(連結3,119人)

■国内事業所 (2013年9月30日現在)

本社 本社別館 大阪支店 札幌支店 仙台支店
 北関東支店 名古屋支店 広島支店 福岡支店
 草加工場 千葉工場 東京工場 京都工場 大阪工場
 アプリケーションセンター プレゼンテーションセンター

■主な連結子会社

国内子会社

理研食品株式会社
 株式会社健正堂
 栄研商事株式会社

海外子会社

天津理研維他食品有限公司
 青島福生食品有限公司
 理研食品(大連)有限公司
 理研維他精化食品工業(上海)有限公司
 理研維他垂細垂股份有限公司
 RIKEVITA(MALAYSIA)SDN.BHD.
 RIKEVITA(SINGAPORE)PTE LTD
 RIKEN VITAMIN USA INC.
 GUYMON EXTRACTS INC.
 RIKEN VITAMIN EUROPE GmbH

■株式の状況 (2013年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 90,000,000株
- 発行済株式の総数 23,652,550株
- 株主数 5,086名

大株主(上位10名)	持株数(千株)	持株比率(%)
キッコーマン株式会社	7,593	34.34
武田薬品工業株式会社	2,076	9.39
理研ビタミン取引先持株会	1,306	5.91
株式会社みずほ銀行	1,102	4.98
永持 孝之進	686	3.11
三菱UFJ信託銀行株式会社	600	2.72
伊藤忠商事株式会社	600	2.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・ミヨシ油脂(株)口)	540	2.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	527	2.38
株式会社損害保険ジャパン	406	1.84

(*1)当社は自己株式1,539,967株を保有しておりますが、上記の株主から除いております。
 (*2)持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

■所有者別株式分布状況



■所有株数別分布状況



■取締役および監査役 (2013年9月30日現在)

代表取締役社長 執行役員	堺 美保
代表取締役専務取締役 執行役員	山下 隆
常務取締役 執行役員	伊東 信平
常務取締役 執行役員	大澤 寛
常務取締役 執行役員	中山 和美
取締役 執行役員	関根 秀雄
取締役 執行役員	属 博史
取締役 執行役員	山木 一彦
取締役 執行役員	細谷 清夫
取締役 執行役員	仲野 隆久
常勤監査役	富士縄 昭平
常勤監査役(社外)	佐藤 和弘
監査役(社外)	北原 弘也
監査役(社外)	竹俣 耕一

■執行役員 (2013年10月1日現在)

執行役員	吉田 正臣
執行役員	指田 和幸
執行役員	鈴木 修
執行役員	金森 一彦
執行役員	矢野 邦樹
執行役員	宮田 昌明
執行役員	有賀 朗
執行役員	藤田 満
執行役員	齋藤 桂
執行役員	原 守
執行役員	清水 雅彦
執行役員	黒澤 道夫

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL：0120-232-711
 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL：
<http://www.rikenvitamin.jp>
 (ただし、電子公告によることができない事故、
 その他やむを得ない事由が生じたときは、
 日本経済新聞に掲載いたします。)

お知らせ
 1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

おすすめ!

レシピ

豆腐とブロッコリーのレンジアップサラダ

材料(4人分)

- ・ブロッコリー 50g
- ・ぶなしめじ ½パック(50g)
- ・絹豆腐 1丁(300g)
- ・桜えび 大さじ2
- ・リケンノンオイル セレクティ®じんわり生姜 適量

作り方

- ① ブロッコリーとぶなしめじは小房に分ける。
- ② 器に豆腐とブロッコリーとぶなしめじをのせ、ラップをかけて600Wの電子レンジで3分加熱する。
- ③ 桜えびで飾る。
- ④ 「リケンノンオイル セレクティ®じんわり生姜」をかけて、出来上がり。



今回使うのはコレ!

新商品紹介

■「リケンのノンオイル セレクティ®」シリーズ に「じんわり生姜」が仲間入りしました

人気の生姜を、子供から大人まで食べやすい味に仕上げることにこだわりました。
 まるやかな生姜味なので、温野菜やお肉を使ったサラダまで、これ1本でさまざまなメニューにご利用いただけます。



■混ぜ込みわかめご飯「コリコリまわかめさん」シリーズに「鶏そぼろ」登場!!

今までになかった肉系の味種がシリーズに加わりました。
 甘辛く味付けした鶏そぼろに生姜の風味を効かせた、さっぱりと食べ飽きないわかめご飯の素です。



「コリコリまわかめさん」シリーズ
 (パッケージリニューアルしました!)

■「わかめご飯」シリーズが リニューアルしました!!

従来品より早く戻り、鮮やかな緑色のわかめが大きく広がる「やわらかわかめ」を開発。
 温かいご飯に混ぜるだけ。お弁当やおにぎり、毎日の食卓にと幅広くご利用いただけます。
 化学調味料を使用しておりません。



“おいしさと健康”をお届けする ショッピングサイト通信販売のご案内

当社商品を通信販売でもお求めいただけます。
 ドレッシングや海藻関連他、さまざまな商品を取り扱っております。
 ホームページをご覧ください。詳細なカタログをお送りいたします。
 3,150円(税込)以上は送料無料で。

ホームページ
<http://www.rike-vita.jp/order/>
 0120-087-319

■トップページ



★おすすめ商品

◎中華レトルトスープ
 水と溶き卵を加えて温めるだけで、本格的なスープが味わえます。



・ふかひれスープ ・かにのスープ ・貝柱入りコーンスープ

株主優待のお知らせ

株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、理研ビタミンの事業内容をより一層ご理解いただくため、株主優待制度として理研ビタミン製品を贈呈しております。

- 対象株主様 毎年3月末および9月末現在の株主名簿に記載された所有株式数100株以上の株主様。
- 優待内容 それぞれの基準日現在の対象株主様に対し、保有期間および保有株式数に応じて下記の基準で当社製品を贈呈いたします。
- 贈呈予定時期 毎年6月下旬および11月下旬に贈呈いたします。

保有株式数	保有期間 3年未満	保有期間 3年以上
100株以上～500株未満	1,000円相当	2,000円相当
500株以上～1,000株未満	2,000円相当	3,000円相当
1,000株以上～3,000株未満	3,000円相当	4,000円相当
3,000株以上～	4,000円相当	5,000円相当

(注)「保有期間3年以上」の対象となる株主様は、毎年3月末および9月末の株主名簿に同一株主番号で、7回以上連続して記載された株主様となります。



※写真はイメージです
 ※パッケージは変更になる場合があります